

【イマズスルフロン・ピリミノバックメチル・
プロモブチド粒剤】

農林水産省登録 第23001号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1kg×12袋、4kg×4袋、10kg×1袋

オサキニ® 1キロ粒剤

有効成分：イマズスルフロン……………0.90% ピリミノバックメチル……………0.60%
 プロモブチド……………9.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になります。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール 当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 ただし、移植後 30日まで	1 kg	本 剤：1回 イマズスルフロン：2回 ピリミノバックメチル：2回 プロモブチド：2回	湛水散布
	直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類に よる表層はく離			は種時
			は種直後～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで		湛水散布、 ごく浅く湛 水して散布 又は無人ヘ リコプター による散布

⚠️ 効果・薬害等の注意

●主要雑草に対する散布適期幅

ホタルイ	3葉期まで	ヒルムシロ	発生期まで 再生前から再生始期まで 発生前まで
ウリカワ	3葉期まで	セリ	
ミズガヤツリ	3葉期まで	アオミドロ・藻類による表層はく離	
ヘラオモダカ	2葉期まで		

○本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意する。

- 散布の際は、水の出入りを止めて、まきむらが生じないように均一に散布する。
- 散布後7日間は落水、かけ流しはしない。また、入水は静かにおこなう。
- 代かき及び均平化作業はていねいにおこなう。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなう。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさける。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）。
 - 軟弱な苗を移植した水田。

- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえる。
- 乾田直播の場合は、入水後しばらくは漏水が多く、効果不足の出るおそれがあるので漏水が少なくなってから散布する。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守る。
 - 散布は散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5 m離れた位置からほ場内に散布する。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しない。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。
- 本剤は生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いては種前または移植前に防除してから使用する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。



安全使用上の注意

- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。(刺激性)
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

〔品目特性〕

- 直播水稲に適した除草剤です。
- は種時～ノビエ3葉期まで長期間散布できます。
- SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ)をはじめ広範囲の雑草に効きます。
- 通常の水管理で使用できます。(は種～出芽期の水管理は湛水直播・乾田直播によって異なります)